

2020（令和2）年度 事業報告

社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会

中野区障害者福祉会館

東京都手をつなぐ育成会 統一ミッション

「私たちは、すべての人一人ひとりの人権と意思を尊重し、障害のある人もない人も共に社会・経済・文化ほかあらゆる分野に参加する機会を得て、主体性を持ちながら豊かな市民生活を送ることができる社会の実現を目指します。」

中野区障害者福祉会館サブミッション

「さまざまなニーズに対応できるよう、関係機関と連携をとり、利用者・近隣住民に信頼される施設を目指す。」

1. 全体状況

新型コロナウイルス感染予防が、優先課題となった1年であった。予定していた集会室利用者が参加する階段昇降機を利用した避難訓練、会館祭りをはじめとする様々な行事及び運営協議会などが中止となった。感染予防の対策として、検温や手洗いの徹底をはじめ、巡回送迎バスの運営方法、貸し集会室の運営方法など、中野区障害者施設係及び沼袋区民活動センターと協議・協力をしながらの運営となった。また、自立訓練と生活介護事業においても、それぞれの利用者に則した感染予防策を検討し実施した。制限された環境の中でも、両事業ともに、リモートでの活動、在宅支援で利用できるプログラムやDVDの作成を実施することができた。また、職員についても、時間差通勤や在宅勤務を取り入れ、感染予防を図った。BCPおよび医務による新型コロナウイルス対応マニュアルを作成し、万が一、職員及びその家族が体調不良となった場合の行動をフローチャート化することにより、各職員が戸惑うことなく行動できるようにした。

中野区の労働環境モニタリング（指定管理期間中に1回実施）を受け、おおむね良好な結果を得た。

2. 本年度重点目標に対する結果

(1) 会館運営

① 会館利用者全体の避難方法の見直し

会館利用の障害者団体との地下の避難経路確認と車いす用階段昇降機の実地体験の避難訓練は、新型コロナウイルス感染予防のため、実施できなかったが、電動及び手動式階段昇降機の研修を、複数回実施し、支援職員全員が、実際に動作確認の訓練を行うことができた。

② 事業間の統一化を図る

事業ごとだった事務用品の保管場所を一か所にして、注文の重複など無駄を無くすことができた。また、送迎バスの予約・キャンセル票を統一することにより、間違いを減らすことができた。

(2) 自立訓練（機能訓練）事業

① 関係機関との連携と利用率向上

事業理解の促進を目的とした医療機関等への訪問は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、実施には至らなかった。

一方、相談支援事業所や区のケースワーカーとの連絡を密にとり、新型コロナウイルスの感染が疑われる利用者への対応や、精神科入院が必要な方への対応など、関係機関と連携して支援することができた。

② 訓練内容の充実

利用者の社会参加を促す訓練プログラムの実施は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、実施には至らなかった。しかし、在宅支援を提供するための理学プログラムの作成、言語聴覚士による情報端末を用いたリモート支援を実施することができた。

③ 地域活動支援センタープログラムを充実させる。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、地域活動支援センタープログラムの縮小、講座講習会の一部中止を行った。

一方、新しい生活様式に則した代替プログラムの提供、社会生活技術力を高めるプログラムの試行など、次年度につながるプログラム提供の検討、試行をした。

(3) 生活介護事業

① 東京都重症心身障害児（者）通所事業開始に向けた環境の整備

コロナ感染症蔓延防止対策として、館内拭き上げ消毒作業や次亜塩素酸水の噴霧、医療的ケアが必要な利用者を対象とした医ケア室を新たに設け、感染症対策を強化した環境を作った。また、日中活動でも、飛沫感染防止のためにアクリル板やフェイスシールドを使用し、感染症対策を徹底し定着させた。

② 地域に向けて生活介護事業の理解啓発活動を行う

コロナ感染症蔓延防止の観点から、積極的な理解啓発活動は行えなかったが、資源回収の一時中断や再開の際等、その都度、手紙を各回収先へ配布した。地域の方からは励ましの手紙や、感謝の言葉いただいた。

また、利用者と一緒に作成している暦の配布先の拡大（中野区シルバー人材センター江古田分室・中野区緑野中学校）が決まった。

③ 個別支援計画書式の見直し

今年度、個別支援計画書式のプロジェクトチームを立ち上げ、定期的に会議を行い、新書式が完成した。令和3年度より新書式を使用しての個別支援計画を作成することができた。

(4) 特定相談支援事業

生活介護利用者の充実した地域生活に向けて、新規計画0件、更新13件、モニタリング13件のサービス等利用計画を作成した。

3. 事業概要

(1) 設置の目的

障害者の日常生活及び社会生活を支援し、共生社会の実現に向けて、区内の障害者が地域住民との連携の中で、交流と相互理解を深めることによって、障害者の福祉向上を図ることを目的とする。

(2) 名称及び所在地等

名称	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 中野区障害者福祉会館
事業所番号	自立訓練（機能訓練） 1 3 1 1 4 0 0 9 0 5 生活介護 1 3 1 1 4 0 0 8 9 7 特定相談 1 3 3 1 4 0 1 5 4 5
所在地	東京都中野区沼袋2丁目40番18号
電話	03 - 3389 - 2171
ファックス	03 - 3389 - 2175
電子メール	na_shoukan@ikuseikai-ky.or.jp

(3) 設立

設立年月日	昭和54年10月1日
指定管理期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
事業所種別	障害福祉サービス（生活介護事業） 障害福祉サービス（自立訓練（機能訓練）） 障害福祉サービス（特定相談）

(4) 施設の規模

敷地面積		2,035.425 m ²
延床面積	障害者福祉会館	2,650.790 m ²
	沼袋区民活動センター	1,135.770 m ²
	防災備蓄倉庫	188.010 m ²
構造	鉄筋コンクリート造	地上3階・地下1階建て

(5) 職員構成

① 職員構成

ア. 会館運営

常勤	施設長（兼務）	1名	非常勤	事務（兼務）	2名
	事務（兼務）	1名		管理員	4名
				事務（派遣）	1名
合計		2名	合計		7名
合計		9名			

イ. 自立訓練（機能訓練）・地域活動支援センター

※管理者（施設長）サービス管理責任者（主任支援員）

常勤	施設長（兼務）	1名	非常勤	事務（兼務・派遣）	3名
	事務（兼務）	1名		支援員	1名
	主任支援員	1名		看護師	1名
	支援員	4名		理学療法士	1名
	理学療法士	1名		作業療法士	2名
	作業療法士	1名		言語聴覚士	1名
	看護師	1名		嘱託医（整形外科）	1名
				嘱託医（内科）	1名
合計		10名	合計		11名
合計		21名			

ウ. 生活介護 ※管理者（施設長）サービス管理責任者（主任支援員）

常勤	施設長（兼務）	1名	非常勤	事務（兼務・派遣）	3名
	事務（兼務）	1名		生活支援員	4名
	主任支援員	1名		看護師	2名
	支援員	8名		理学療法士	2名
	看護師	2名		作業療法士	1名
				嘱託医（精神科）	1名

				嘱託医（歯科）	1名
合 計		13名	合 計		14名
合 計		27名			

（6）利用者状況

① 自立訓練（機能訓練）事業

ア．利用対象者

障害者総合支援法に基づくサービス支給決定を受けている方。常時医学的な介護を必要とせず、通所により事業を利用することが可能な方で、年齢は契約時満65歳未満とする。ただし言語訓練は除く。

介護保険制度および医療機関における同種サービスの併用は不可。

イ．利用時間・定員

利用時間	定 員	合 計
9：30～12：00	10名	20名
13：00～15：30	10名	

ウ．性別・年齢構成（令和2年度内）

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	合計
男性	0名	0名	0名	3名	4名	2名	2名	11名
女性	0名	1名	2名	1名	2名	2名	0名	8名
合計	0名	1名	2名	4名	6名	4名	2名	19名

エ．障害程度（令和2年度内）

身障手帳	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
1種	6名	5名	2名	0名	0名	0名	13名
2種	0名	1名	1名	0名	1名	1名	4名
合計	6名	6名	3名	0名	1名	1名	17名

※療育手帳のみ 4度（1名）、手帳なし（1名） 合計 19名

オ．利用者の利用前の状況（令和2年度内）

状況	在宅	入院	通院	他機関	その他	合計
人数	6名	2名	4名	3名	4名	19名

② 地域生活支援事業（地域活動支援センター）

ア．利用対象者

中野区内に住所を有する満65歳未満の身体障害者、または高次脳機能障害の診断を受けた方（難病についても応相談）であり、常時医学的な介護を必要とせず、通所により事業を利用できる方。

イ. 利用時間・定員

利用時間	定員	合計
9:30～12:00	7名	15名
13:00～15:30	8名	

ウ. 性別・年齢構成

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～65歳	合計
男性	0名	0名	0名	1名	12名	6名	19名
女性	0名	0名	1名	1名	2名	4名	8名
合計	0名	0名	1名	2名	14名	10名	27名

エ. 障害程度

身障手帳	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
1種	13名	7名	1名	0名	0名	0名	21名
2種	0名	1名	0名	2名	2名	1名	6名
合計	13名	8名	1名	2名	2名	1名	27名

③ 生活介護事業

ア. 利用対象者

障害者総合支援法に基づくサービス支給決定を受けている方。

障害支援区分3以上（50歳以上は区分2以上）の方。

イ. 定員

32名（現員25名）

ウ. 性別・年齢構成

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	合計
男性	0名	7名	1名	2名	4名	14名
女性	0名	6名	1名	3名	1名	11名
合計	0名	13名	2名	5名	5名	25名

*平均 男性 37.5歳 女性 34歳 全体 36歳

エ. 障害程度

身障手帳 愛の手帳	無し	1級	2級	3級	4級	5級	合計
1度	1名	2名	0名	0名	0名	0名	3名
2度	12名	1名	1名	0名	0名	0名	14名
無し	0名	8名	0名	0名	0名	0名	8名
合計	13名	11名	1名	0名	0名	0名	25名

オ. 障害支援区分

障害支援区分	1・2	3	4	5	6	合計
人数	0名	0名	4名	7名	14名	25名

カ. 利用者の利用前の状況

状況	在宅	特別支援卒業	区立卒業	他通所施設	入所施設	合計
人数	1名	21名	1名	2名	0名	25名

キ. 保護者状況

状況	両親	父親	母親	兄弟姉妹	叔父叔母	従兄弟	後見人	その他	合計
男性	10名	0名	3名	0名	0名	0名	0名	1名	14名
女性	8名	0名	2名	0名	0名	0名	0名	1名	11名
合計	18名	0名	5名	0名	0名	0名	0名	2名	25名

4. 事業実績

(1) 会館運営

① 送迎バスの運行管理

ア. 運行台数

マイクロバス（リフト付き）4台

ワゴン車（リフト付き）4台

イ. 運行時間

午前7時25分～午後6時00分

ウ. コース

区内8コース

エ. 利用状況

	運行回数	利用人数
赤バス	588回	3,727名
紫バス	621回	4,468名
青バス	612回	4,846名
緑バス	633回	4,813回
れもんバス	503回	762名
りんごバス	586回	1,277名
いちごバス	394回	703名
すいかバス	588回	911名
合計	4,525回	21,507人

② 施設提供

ア. 個人利用

a. 利用時間 午前9時から午後10時

b. 利用状況

施設	利用人数
福祉図書室	0名

イ. グループ利用

a. 利用時間

利用時間					
1	9:00~12:00	2	13:00~17:00	3	18:00~22:00

b. 利用状況

障害者

施設	件数	人数
多目的室	1件	2名
調理室	0件	0名
音楽室	25件	271名
スポーツ訓練室	130件	752名
合計	156件	1,025名

一般

施設	件数	人数
調理室	0件	0名
音楽室	20件	263名
スポーツ訓練室	0件	0名
合計	20件	263名

(2) 自立訓練事業(機能訓練)事業

① 入退所状況(名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	12	13	13	12	12	11	11	11	9	9	10	11	134
新規	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	2	1	7
終了	0	0	0	1	0	2	1	1	2	0	1	0	8

② 通所方法

自主通所及び送迎バスを利用。

③ 利用状況（名）

P T：理学療法 O T：作業療法 S T：言語聴覚療法

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
P T	39	51	88	72	73	75	89	79	65	48	56	78	813
O T	53	56	81	76	57	56	77	59	55	29	48	50	697
S T	16	28	34	30	26	18	38	27	22	22	29	29	319

④ 日課・週間プログラム

（午前の部）

9:30	会館到着（午前の部） バイタルチェック（血圧・脈拍・体温等）
10:00	障害の状況や社会環境に合わせて、機能訓練、日常生活動作訓練、言語訓練、就労状況に合わせた訓練を個別グループで実施。
11:30	帰宅準備
12:00	帰宅

（午後の部）

12:45	会館到着（午後の部） バイタルチェック（血圧・脈拍・体温等）
13:00	障害の状況や社会環境に合わせて、機能訓練、日常生活動作訓練、言語訓練、就労状況に合わせた訓練を個別グループで実施。
15:15	帰宅準備
15:30	帰宅

（3）地域活動支援センター

① 入退所状況（名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	24	23	22	22	22	22	22	21	22	24	24	24	272
新規	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	4
終了	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3

② 通所方法

自主通所及び送迎バスを利用。

③ 利用状況（名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延数	99	64	173	159	151	148	154	144	131	103	94	103	1,523

④ 日課・週間プログラム

（午前の部）

9:30	会館到着・バイタルチェック（血圧・脈拍・体温等）
10:00	準備体操・活動開始（それぞれのグループに特色あり） 体操・創作・外出・調理・自主トレーニング等
11:30	帰宅準備
12:00	帰宅

（午後の部）

12:45	会館到着・バイタルチェック（血圧・脈拍・体温等）
13:00	準備体操・活動開始（それぞれのグループに特色あり） 体操・創作・外出・調理・自主トレーニング等
15:15	帰宅準備
15:30	帰宅

⑤ 活動グループ

グループ名	人数	活動内容
ヘルシーライフ	6名	食の関心、陶芸、園芸等
影絵工房	6名	俳句作成、クロスワード等
いきレク	3名	創作活動
フィットネス	6名	DVD体操、個別体操、レクリエーション
おしゃべり工房	4名	絵画制作（障害者総合美術展に応募）等
ミュージック	6名	曲に合わせての楽器演奏等
S H I P	4名	高次脳機能障害者を対象としたグループ活動 社会生活技術訓練の試行
自主トレーニング	4名	理学療法士と相談して立てたプログラムに沿った自主的な運動等

（４）その他

① 入浴事業

ア．利用対象者

区内に在住する障害者で、一般の浴槽での入浴が難しい方に対して清潔を保つことを目的に入浴の機会を提供する。

イ. 定員

a. 機械入浴 1人週1回、1日最大4名まで利用可。

b. 介助入浴 1人週2回、ヘルパー等の付添で利用可。

※介助の状況により1日に10名程度利用可。

ウ. 性別・年齢構成・障害程度

a. 機械入浴（現員1名）			b. 介助入浴（現員1名）		
性別	年齢構成	障害程度	性別	年齢構成	障害程度
男性	50～59歳	1種1級	男性	50～59歳	1種1級

エ. 利用状況

a. 機械入浴

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	4	4	4	5	4	5	4	4	4	4	4	5	51

b. 介助入浴

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	8

② 講座・講習会

ア. 利用対象者（中野区内在住、在勤の方）

イ. 定員（講座・講習会により変動あり）

ウ. 利用状況

a. 講座（定例・入門）

障害者の自立や社会参加、趣味の拡大等の為に開催

講座名	曜日	実施回数	利用人数
料理講座（視覚障害）	第1火曜	全0回	0名
編み物講座	第1月曜	全8回	28名
座位エクササイズ講座	第2・4火曜	全14回	59名
書道講座	第2水曜	全9回	41名
レク体操講座	第1金曜	全7回	20名
入門講座		全0回	0名

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部講座の中止、縮小を行った。

b. 講習会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施しなかった。

点字講習	前期後期	全0回	利用人数	0名
------	------	-----	------	----

(5) 生活介護事業

① 車椅子利用者 13名

② 入退所状況 (名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③ 保護者状況 (名)

状況	両親	父親	母親	兄弟 姉妹	叔父 叔母	従兄 弟	後見 人	その 他	合計
男性	10	0	3	0	0	0	0	1	14
女性	8	0	2	0	0	0	0	1	11
合計	18	0	5	0	0	0	0	2	25

④ 利用率 (%)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
36	82.8	84.1	71	68	71.4	71.8	70.9	71.6	65.8	70.6	74	69.8

⑤ 日課・週間プログラム

	月	火	水	木	金
9:30	送迎バスまたは家族送迎にて通所				
9:50	更衣・水分補給・体調確認・その他				
10:00	ミーティング				
	目的別 グループ 活動	目的別 グループ 活動	目的別 グループ 活動	目的別 グループ 活動	目的別 グループ 活動
12:00	昼食・歯磨き・自由時間				
13:30	テーマ別 活動	テーマ別 活動	テーマ別 活動	目的別 グループ 活動	テーマ別 活動
14:45	更衣・水分補給・ミーティング				
15:30	送迎バスまたは家族送迎にて帰宅				

⑥ 目的別グループ

グループ	人数	活動内容	
		目的	活動内容
サンサン	14名	健康や体力の維持増進・気分転換を目的としたウォーキング、館内歩行、ストレッチ等。集中力や日中のメリハリを目的とした作業活動。	散歩・作業（クッキー作り、缶回収・つぶし・仕分け並べ、新聞回収、ビーズ作り、紙すき等）・軽運動・足浴・調理・音楽・買い物・お茶会等
ポレポレ	11名	身体機能の維持・発達を目的としたストレッチや感覚活動。集団と個別を意識した創作やレク活動。	理学療法士・作業療法士によるストレッチ・買い物・散歩・音楽・軽運動・足浴・本読み・創作・お弁当購入（ランチ）・こよみ作り等

⑦ テーマ別活動

	活動	内容
月	こよみ・音楽	こよみはステンシルや折り紙を使い、四季の表現や童話をモチーフに作成した。音楽は各グループや全体で行った。
火	室内活動等	各グループで足浴・手浴、DVD鑑賞、お菓子作り、お茶会等をして過ごした。
水	缶作業・ビーズ・レク・創作等	地域で回収した缶を洗う・並べる・仕分ける・潰す等の工程に分けて取り組んだ。ビーズはサンサングループの取り組みとして行った。レクでは主にポレポレグループが、ボーリング・野球ゲーム・オセロ・ジェンガ等を楽しんだ。創作は季節を感じる作品制作を行った。
木	クッキー（隔月）	レイアウトの変更に伴い、①材料の運び、②仕込み、③焼き、の3工程に分けて実施した。
金	缶作業・ビーズ・軽運動等	軽運動として、サンサングループでは回廊歩行や階段の上り下り、腹筋・背筋、マッサージを行い、ポレポレグループは個々に応じたストレッチ・トレーニングを行った。

⑧ その他の活動・サービス（全グループ共通）

ア．利用者の自治会活動（ひまわり会）

ひまわり会の話し合いは年間4回、全体で行った。8月のサマーパーティーと年度末の納め会を利用者が主となって企画し、進行の役割を担当した。会費で行事の昼食やデザートを購入した。

行事開催時の開会・閉会の挨拶は利用者代表が行った。

イ．調理実習

今年度は、コロナ感染症対策を行いながら両グループ共に、ピザ作りを実施した。2月はバレンタインデー、3月はホワイトデー企画でクッキー作りを行い、出来上がったクッキーは活動時間に皆で試食した。

ウ．理学療法・作業療法

理学療法士、作業療法士に相談し、利用者のニーズに合わせたストレッチ・訓練や自助具・座位保持等の補装具を製作した。また、車椅子の状態を確認し、家族へ使用時の様子を伝えた。

エ．プール活動

コロナ感染症対策のため、中止した。

オ．音楽活動

コロナ感染症対策を徹底しながら、活動内容も工夫し実施した。また、声を出して歌う時は、その様子をビデオに撮り、映像を流した。

飛沫感染防止対策として講師と利用者の上に大きなアクリル板で仕切りを作り、感染症対策をしっかりと行いながら実施した。

カ．パーソナル外出

コロナ感染症対策のため、外出行事は中止した。

キ．クラブ活動

クラブ活動は、新型コロナウイルス感染予防のため実施しなかった。

⑨ 全体行事

実施日	行事名	実施場所	参加人数	
			利用者	ボラ
6月10日	ぬまりんピック	中野区障害者福祉会館	18名	0名
8月7日	サマーパーティー	中野区障害者福祉会館	15名	0名
12月28日	忘年会	中野区障害者福祉会館	11名	0名
3月31日	納め会	中野区障害者福祉会館	18名	0名

⑩ 家族との連携（コロナ感染症対策の中止）

家族連絡会（感染症予防対策のため1回のみ開催）	1回	会館まつり（感染症予防対策のため中止）	0回
家族懇談会（感染症予防対策のため中止）	0回	個別面談（感染症予防対策のため延期）	0回
ぬまりんピック	1回	給食試食会	0回

⑬ タイムケア

17時まで（40回）	40回
18時まで（0回）	

（6）特定相談支援事業

① 利用対象者

会館生活介護利用者

② 相談窓口の時間、開所日

毎週水曜日 15：30～17：00

③ 利用者数

ア．令和2年度新規計画作成 0件

イ．更新 13件

ウ．モニタリング 13件

5. 権利擁護

（1）事業所としての取組み、方針

会館運営、自立訓練事業、生活介護事業から担当職員を2名ずつ選出し、権利擁護について取り組んだ。

また、ボランティアや実習生、近隣住民との交流を持ち、常に外部の目を入れることで、職員の意識改革を図った。

（2）虐待防止委員会

① 委員会・会議等

朝礼等で情報の共有は行ったが、新型コロナウイルス感染防止のため委員会、会議は実施しなかった。

② 外部研修

12月11日	障害者虐待防止の理解と虐待事案について	1名
--------	---------------------	----

③ 施設内研修・学習会（研修フィードバック）

4月1日	チェックリスト分析・フィードバック（生活）	14名/6名紙面
8月12日	チェックリスト分析・フィードバック（自立）	10名/4名紙面
3月30日	チェックリスト分析（年間まとめ）（自立）	10名/4名紙面
3月30日	チェックリスト分析（年間まとめ）（生活）	13名/7名紙面

(3) 苦情解決第三者委員

契約時における苦情解決担当者、苦情解決責任者の説明に加え、法人窓口、区担当・オンブズマン、第三者委員等を紹介し、事業の適正化や信頼性の確保を図る取り組みを行った。第三者委員との連携を強化し、運営協議会の参加及び活動見学を計画したが、新型コロナウイルス感染予防のため、実施できなかった。

運営協議会（コロナ感染症対策のため、書面にて実施。）	1回
----------------------------	----

(4) 個人情報保護

中野区個人情報保護条例及び中野区情報公開制度に基づき、区により定められた取り扱うことのできる個人情報の範囲、取扱い方法について課せられた制限及び義務を遵守した。

① 施設で扱う個人情報の範囲と管理について

ア．施設で扱う個人情報は、利用者支援上、特に必要な情報のみに限定し、職員の責任と権限を明確に定め、管理を徹底した。

イ．個人ファイルについては、全て事務所内の施錠できる保管庫に管理し、職員による緊急時の個人情報の持ち出しは、管理者を通して行った。

ウ．システムによる管理を徹底し電子媒体の個人保有を禁止した。

② 情報提供について

緊急対応時を除き、他の指定事業者やその他第三者に対し、利用者または、その家族に関する情報を提供する場合は、あらかじめ文書により利用者または家族から同意を得るようにした。

③ 職員教育

個人情報の取り扱いに対して全職員に説明し管理を徹底した。

(5) 障害者差別解消法

「障害者差別解消法福祉事業者向けガイドライン」を活用し、障害特性に応じて事業毎に支援方法を確認した。

また、合理的配慮については外出訓練の振り返り時に、外出先での社会の障壁について、利用者と話し合った。

6. 医務

(1) 健康管理

① 自立訓練（機能訓練）事業

年22回、自立訓練及び地域活動支援センターの利用者を対象に嘱託医による診察を実施した。利用者の健康状態を把握し、家族・主治医・関連医療者との連携を図り健康で安全な生活が送れるように支援

した。

- ア. 利用者が安全に通所できるように、通所時毎に利用者の体調を観察、把握した。また、新型コロナウイルスに関する情報を収集し、利用者・職員への注意喚起、手指消毒機器の設置等、施設内の衛生管理や感染症対策を行った。
- イ. 利用者が自らの健康状態に関心を持ち管理ができるように、視覚からの理解を促す教材の導入や食事指導などを行った。
- ウ. 新規利用者に対して効果的に訓練を実施できるよう、医療機関からの情報を基に令和2年度は8名のアセスメントを実施した。

② 生活介護事業

年1回、全利用者を対象として定期健診を行い、利用者の健康状態を把握し、家族・主治医等と連携を図り健康で安全な生活が送れるよう支援した。令和2年度は、医療的ケア対象利用者を主とした医ケア相談の機会を2回作り、医療面での体制強化に努めた。

- ア. 利用者、家族より健康情報を得て健康管理を行った。
- イ. 月1回、体重血圧測定及び必要に応じてバイタルチェックをすることで、疾病等の早期発見に努めた。
- ウ. 各検診を実施し、必要と思われる医療情報等を各家庭へ提供することで健康や疾病に対する注意を喚起した。
- エ. 利用者が会館内で衛生的な生活が送れるように環境を整えた。
- オ. 利用者の体調を観察・把握し、社会の感染情報も得ながら、施設内の衛生管理を行った。
- カ. 職員の健康管理を行った。年1回健康診断を受け、自らの健康状態を把握し、必要に応じて嘱託医の助言を受けながら健康維持に取り組んだ。

(2) 実施体制

関係医療機関・嘱託医

医療機関名	主な診療科目
西武沼袋医院	内科・外科・泌尿器科・皮膚科
石坂整形外科	整形外科・理学診療科
銀河クリニック	精神科
神戸歯科医院	歯科
心身障害児総合医療療育センター	医療的ケア

(3) 嘱託医健診等

① 自立訓練（機能訓練）事業

内科健診	22回	体重測定	毎月
整形外科健診	22回	健康チェック	毎日
精神科相談	2回		

② 生活介護事業

内科健診	2回	体重測定	12回
整形外科健診	2回	健康チェック	毎日
精神科健診	4回	定期健康診断	1回
歯科検診	1回	医療的ケア相談・研修	2回

(4) 感染症予防・対応

- ① 感染症マニュアル・新型コロナウイルスマニュアルを基に、予防・対応に取り組んだ。
- ② 毎日、利用者帰宅後に活動室内の物品・トイレ・洗面等の消毒を行い衛生管理に取り組んだ。
また、トイレや活動室、食堂の洗面所には手指用消毒液を設置し、こまめに手洗いと消毒を行い、感染症を予防した。
インフルエンザ流行時期には、特に加湿など環境面に配慮した。また利用者家族に注意・喚起を行った。
- ③ 新型コロナウイルス感染防止として、次亜塩素酸水精製機のレンタルと次亜塩素酸水の噴霧機を導入し、利用者活動室や事務室、医療的ケア対象者の活動室などで噴霧を行った。
- ④ 中野区から加湿空気清浄機やマスク、手袋等の感染予防物品の支給を受け活用した。
- ⑤ 公用車内での飛沫感染予防のため、運転席と後部座席間にビニールの間仕切りを設置した。

(5) 理学療法士・作業療法士との連携

利用者の必要に応じて理学療法士・作業療法士と連携を図り、筋力の維持、拘縮予防等について対応し、運動機能の改善、維持を行った。

また、必要に応じ研修やケース検討会等を企画し、支援員・看護師は介護技術の助言を受け、支援に反映させた。

7. 給食・調理

利用者の障害特性を考慮し、可能な範囲内で柔軟に対応した。食形態については普通食以外に、嚥下機能等に配慮をした軟菜食、ソフト食、ペースト食の区分を設け、その区分から個別に対応した。

(1) 給食会議

毎月、第2火曜日に定例会議を開催し、検食簿を基にメニューの振り返りと確認、翌月の予定調整やイベント食、セレクトメニューの提案や企画をした。また、利用者個々の体調や適した食形態を確認し、その方に合わせて変更した。

会議開催にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大状況により、書面での開催に切り替えた。

(2) 衛生管理（食中毒予防）

委託業者は、業者の衛生管理マニュアル（作業管理規定、作業標準書）に沿って作業環境や作業員・作業場の衛生管理に取り組み、調理作業を行った。

(3) 委託業者

給食提供業者

会社名：株式会社CTMサプライ

所在地：東京都新宿区四谷三栄町9番4号堀木ビル2階

電話：03-6457-8282

FAX：03-6457-8283

8. 危機管理体制

(1) 事故防止・報告・改善と感染症の予防対策

職員会議・ミーティングで定期的に「ヒヤリハット・インシデント」報告を行い、職員間で危機管理意識を共有した。新型コロナウイルス感染症に対しては施設内研修を実施し、感染予防の理解を深めた。

(2) 緊急連絡網の整備

緊急時に備え、災害時優先回線を利用した職員間の緊急連絡体制を整えた。また、中野区障害者福祉会館を災害時の二次避難場所であることを利用者・家族へ周知した。

(3) 保険の加入

施設として施設賠償保険に加入するとともに、行事保険やボランティア保険にも加入した。

(4) 特定個人情報管理（マイナンバー関連書類・データ等）

特定個人情報は、法人「特定個人情報取扱規程」に則り、管理区域、取扱区域を設け、取扱責任者、取扱担当者のみが取り扱い、決められた目的のみに使用した。職員等からの番号収集は、規程にのっとり、適切な方法で行った。

職 名	氏 名
管理責任者(法人)	事務局長
取扱責任者	施設長
取扱担当者	事務員

9. 防災訓練関係

(1) 自衛消防体制

障害者福祉会館館長を隊長として、館内にある区民活動センターと協同で自衛消防組織を編成し、訓練を実施しながら有事に備えた。

(2) 防災訓練

① 自立訓練（機能訓練）事業 隔月に防災訓練実施

総合避難訓練（合同）	2回	避難訓練	4回
------------	----	------	----

② 生活介護事業 隔月に防災訓練実施

総合避難訓練（合同）	2回	避難訓練	4回
------------	----	------	----

(3) 大規模地震・災害対応

当初6月と1月に予定していた訓練については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、消防署の立ち合いは難しかったため、職員のみで実施した。

また、災害対応として、会館事業外車いす利用者の地階からの避難訓練を実施した。

10. 家族（保護者）との連携

(1) 生活介護事業

日々の連絡帳を通して、家庭での様子、施設からの連絡や利用者の活動時の様子、健康面の特記事項等、情報交換を行い連携した。

- ① 毎月「月予定」を作成し、月の活動や行事の日程を伝えるとともに、前月分の活動の様子を写真で家族に報告した。
- ② 年4回生活介護広報誌「ひまわりだより」を作成し、行事の様子を報告した。
- ③ 今年度は、コロナ感染症対策のため、6月に1回のみ開催した。
- ④ 中間時・年度末ともに個別支援計画書の作成・見直し・報告は書面でのやり取りに切り替え、利用者・家族の意向を踏まえた計画書を作成した。
- ⑤ 年度末に実施予定だった保護者懇談会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。
- ⑥ 例年どおり「ぬまりんピック」を実施したが、新型コロナウイルス

感染拡大防止のため、家族の参加は中止とした。

1 1. 地域との連携

(1) 地域交流

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会館まつりを中止とした。
- ② 活動を通して近隣や障害者団体、学校や保育園等と交流を行った。
- ③ 介護等体験や社会福祉士相談援助実習の受け入れを行った。
- ④ アルモニーは、新型コロナウイルスの感染状況を見て展示を行った。

(2) 地域関係団体・事業所との連携

- ① 障害者相談支援事業所との情報交換と連携を強化した。
- ② 自立支援協議会の各部会へ参加した。
 - ア. 施設系事業者連絡会
 - イ. 相談支援部会
 - ウ. 差別解消部会
 - エ. 自立支援協議会全大会
- ③ 中野区高次脳機能障害支援者連絡会へ参加した。

(3) 実習・ボランティア等受け入れ状況

- ① 自立訓練
 - ア. 実習・体験・見学等

介護等体験	2名	短大インターンシップ	6名
社会福祉士相談援助実習	3名		

イ. ボランティア

日常（作業・活動・企画等）	1名
---------------	----

- ② 生活介護

ア. 利用者実習

特別支援学校	6回
--------	----

イ. 実習・体験・見学等

介護等体験	1名	保育実習	1名
-------	----	------	----

ウ. ボランティア

行事（会館まつり・外出・宿泊旅行・プール等）	0名
------------------------	----

1 2. 会議・委員会

(1) 法人関係

施設長会議（オンライン）	11回	主任係長会（オンライン）	7回
事務連絡	1回	看護師連絡会	0回

どリーむ通信（オンライン）	12回		
---------------	-----	--	--

（２）施設関係

運営会議	1回	医務会議	10回
運営協議会（コロナ感染症対策の為、文書にて対応）	1回	会館まつり全体会議（会館まつり中止のため実施せず）	0回
虐待防止委員会	1回	会館まつり担当者会議（会館まつり中止のため実施せず）	0回
人事考課調整会議	2回	防災担当者会議	2回
給食会議（書面開催含む）	12回	全体職員会議	1回
バス運行会議	1回		

（３）区関係

自立支援協議会 全大会	1回	入所情報連絡会	0回
相談支援部会	4回	施設系事業者連絡会	2回
差別解消部会	2回		

（４）サービス事業別会議

① 自立訓練（機能訓練）

職員会議	12回	支援員会議	11回
------	-----	-------	-----

② 生活介護

職員会議	4回	個別支援計画全体会議	10回
目的別会議	12回	家族連絡会	1回
リーダー会議	7回	給食会議	3回

13. 研修計画・大会参加

（１）会館運営（研修等実施・参加状況）

① 法人関係

12月8日	人事考課研修基本編	1名
-------	-----------	----

② 外部研修

2月26日	東京都社会福協議会「事務職員向け知的障害者理解」	1名
-------	--------------------------	----

（２）自立訓練（研修等実施・参加状況）

① 法人関係

9月29日	施設体験研修（大田区障がい者総合サポートセンター）	2名
-------	---------------------------	----

② 外部研修

1月12日	施設職員のための感染症対策オンライン研修	5名
1月13日	施設職員のための感染症対策オンライン研修	4名

③ 施設内研修・学習会（研修フィードバック）

9月9日	コロナ禍でできる外出について・生活習慣病	8名
9月16日	認知行動療法・高次脳機能障害について	7名
9月23日	就労支援・マインドフルネス	8名
1月20日	施設職員のための感染症対策オンライン研修1・2	6名
1月22日	施設職員のための感染症対策オンライン研修3・4	7名
2月5日	施設職員のための感染症対策オンライン研修5・6	7名
2月10日	緊急時の関係機関連絡と生活保護について	9名

④ 見学

終了後サービス利用先等			
えはらハイツ	3名	東部福祉作業所	2名
弥生福祉作業所	2名	杉の子弥生福祉作業所	2名

（3）生活介護（研修等実施・参加状況）

① 法人関係

10月12日	初級中堅研修「中堅職員としての役割を考える」	1名
10月30日	東京都育成会大会	15名
11月4日	施設体験研修（練馬区立貫井福祉園）	1名
12月8日	人事考課フォローアップ研修	1名

② 外部研修

8月5日	自閉症支援講座	1名
9月9日	メンタルヘルス講習会	1名
10月1日	高齢者の知的障害の支援	2名
10月9日	東京都相談支援従事者初任者研修	2名
10月13日	メンタルヘルス講習会	1名
10月21日	中野区相談支援事業所 第一回事例研修会	1名
12月11日	障害者虐待防止の理解と虐待事案について	1名
12月16日	絆障害者システムあすなろ台帳オンラインセミナー	1名
1月6日 21日	東京都サービス管理責任者更新研修	1名
1月27日	個別支援計画を再考するIV～個別支援計画と日々の記録、そしてマネジメントへ～	1名
2月8日	令和3年度報酬改定に関する講演について	1名

③ 施設内研修・学習会（研修フィードバック）

9月10日	医療的ケア手技研修	7名
-------	-----------	----

9月29日	メンタルヘルス講習会①	15名
9月30日	自閉症支援講座	15名
12月22日	メンタルヘルス講習会②	15名
12月25日	人事考課フォローアップ研修	1名
1月8日	コロナ禍で障害のある方が困っている事、一人一人ができる事（個人）	15名
1月15日	障害者虐待防止の理解と虐待事案について	15名
2月3日	目標の大切さについて	13名
2月4日	高齢の知的障害の支援（一般的な認知症について）	15名
2月5日	高齢の知的障害の支援（知的障害の認知症について）	16名

14. 労務管理

(1) 職員健康管理

職員は年1回、健康診断を実施した。健康診断の結果は看護師が集約し、施設長が把握したうえで、医師からの所見のあった職員については、施設長が対象職員と確認を行った。

(2) 衛生推進体制

所属	安全衛生推進者
会館運営	看護師

(3) ワーク・ライフ・バランスの推進

事業ごとに業務を見直し、時間外勤務を削減させた。時間外勤務に関しては、職員が計画的に実施する習慣を確立できるよう周知徹底した。休憩時間についても効率よく業務につける時間帯を事業ごとに設定した。

(4) 次世代育成

職員が仕事と子育てを両立させることができる環境を作るために年次有給休暇取得状況の把握と業務の見直しを行った。

(5) セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメントの防止

相談窓口の設置

所属	相談窓口
自立訓練（機能訓練）	自立訓練事業主任 他1名
生活介護	生活介護事業主任 他1名

(6) メンタルヘルス

法人事務局相談室に設置されている「職員悩み事相談室」と「無料相談窓口メンタルサポートネット」を紹介した。

また、研修に参加しやすい環境整備、研修啓発を行った。

法人のストレスチェック制度実施規定に基づき、ストレスチェックを2月に実施。

15. 指導・監査・調査等

(1) 労務環境モニタリング

中野区が指定管理施設に対して、その指定期間中に実施する。今年度、受検し、概ね良好な結果を得た。

(2) 事業別満足度調査の実施

満足度調査を実施し、集計結果を利用者及び区に報告した。

16. 指定管理

(1) 第1期

平成21年4月1日から平成26年3月31日（5年間）

(2) 第2期

平成26年4月1日から平成31年3月31日（5年間）

(3) 第3期

平成31年4月1日から令和6年3月31日（5年間）